



CONTENTS

巻頭言	1
日本食物繊維学会第26回学術集会長のご挨拶	2
日本食物繊維学会第26回学術集会プログラム	2-7
編集委員会より	8



東京栄養サミット2021における 栄養学学術連合コミットメント



園山 慶 (北海道大学大学院)

本年12月7, 8日に東京栄養サミット2021が開催されます。栄養サミットは、栄養改善に向けた国際的取組を促進する会合で、オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて行われており、2012年にロンドンで開始され、2016年のリオデジャネイロに続いて、東京で開催されるものです。東京栄養サミット2021は日本政府が主催し、国際機関、各国政府、学術機関、民間企業、NGO等のさまざまなステークホルダーが、①健康：栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) への統合、②食：健康的で持続可能な食料システムの構築、③強靱性：脆弱な状況下における栄養不良対策、④説明責任：データに基づくモニタリング、⑤財政：栄養改善のための財源確保、の5つのテーマに関して議論します。その成果として、すべてのステークホルダーがコミットメントを作成することとなっています。

本学会が参加している日本栄養学学術連合もコミットメントを発表することとしており、これまで2回のタスクフォース会議を経て、取り組むべき「柱」となるテーマを、「食文化の特性を踏まえた健康で持続可能性のある食事評価のためのフレームワークの提案」としました。本学会からは、

西村直道理事と筆者がタスクフォースメンバーとして参加し、「日本食における食物繊維摂取の特性の理解」を本学会の研究課題に設定して、コミットメント作成に関わってきました。その研究課題の概要は、日本人の現在の食物繊維摂取量は望ましいと考えられる摂取量より少ない一方で、多様な食素材に含まれる食物繊維を、多彩な調理法を用いて摂取するという特徴を有する日本食における食物繊維摂取の質的・量的な特性を理解するために、食物繊維摂取に関する食事調査についての学術論文のレビューを行うとともに、国民健康・栄養調査の結果に基づいて食品群別の食物繊維摂取の特徴を記載し、さらに、食物繊維が腸内細菌叢と宿主のクロストークを調節する主要因であることに着目し、日本食において摂取される食物繊維の生理機能に関する実験研究を行うことです。求められる成果としては、日本食における食物繊維摂取の特性を把握し、健康で持続可能性のある食事評価のためのフレームワーク構築の基盤情報とすることです。今後はこれらの取り組みを学会内でより具体化していく予定ですが、課題の遂行に向けて会員の皆様のご協力をお願い致します。

第26回学術集会プログラム

開催方法：ビデオ会議システム Zoom（ウェビナー）によるオンライン開催

学術集会長：青江誠一郎（大妻女子大学）

第26回学術集会を、令和3年11月6日（土）、7日（日）にオンラインライブで開催します。コロナ禍の影響で思うように研究が進まなかったかもしれませんが、ルミナコイド研究の現状を相互に発表し合い、議論することで来期に向けた研究の活力となることを期待しています。会員の皆様におかれましては奮ってご参加下さい。オンラインライブのため、質疑応答も十分な時間を取ります。発表賞も従来通り選考しますので、活発な討議をお願いします。

1. 行事日程

第1日 11月6日（土）

- 8：30～：開場（Zoom 接続可）
- 9：30～：一般演題発表
- 12：45～：評議員会・総会
- 13：45～：学会賞・奨励賞 授与式
- 14：00～：一般演題発表

第2日 11月7日（日）

- 8：30～：開場（Zoom 接続可）
- 9：30～：一般演題発表
- 12：00～：発表賞 表彰式

2. 参加者へのご案内

1) 総会および学術集会参加登録【参加登録最終期限：2021年10月12日（火）】

参加登録は、本学会ホームページからのオンライン登録のみです。当日の参加登録は受付できません。※参加費の振込は、10月19日（火）までをお願いします。

2) 学術集会に関する詳細や連絡 学会ホームページに掲載します。ご確認をお願いします。

3) 学術集会に関するお問い合わせ先

第26回学術集会実行委員会

(1) Web 開催に関するお問い合わせ

静岡大学学術院 西村直道

Tel/FAX 054-238-4878

E-mail: nishimura.naomichi@shizuoka.ac.jp

(2) プログラムに関するお問い合わせ

愛媛大学農学部 岸田太郎

Tel 089-946-9983 FAX 089-977-4364

E-mail: kishida@agr.ehime-u.ac.jp

(3) その他のお問い合わせ

川崎医療福祉大学医療技術学部 宮田富弘

Tel 086-462-1111 FAX 086-463-3508

E-mail: miyada@mw.kawasaki-m.ac.jp

3. 第 26 回学術集会への参加について

1) 参加方法

- 第 26 回学術集会（ウェビナー）には、通常の Zoom アプリ（無料）で参加できます。Zoom の基本操作をご理解のうえで、ご参加ください。
 - 参加手順は、以下の流れになります。
 - ①学会ホームページ → 第 26 回学術集会にアクセス
 - ②第 26 回学術集会 → 入力欄に事前にメール送信された ID とパスワードを入力
 - ③ウェビナー登録 → 入力例を参考にして、氏名と所属を入力
参加登録に使用したメールアドレスを入力
- 【入力の注意点】 名の欄に姓を、姓の欄に名（所属）を入力してください。

ウェビナー登録画面での入力例

名	青江	姓	誠一郎（大妻女子大学）
メールアドレス		メールアドレスを再入力	
<input type="button" value="開催中のウェビナーに参加する"/>			

※学術集会参加後に名前（所属）を変更したい場合は、一度ウェビナーから退出した後、再度参加する際に再入力することができます。（参加したままで氏名等を変更することはできません。）
※表記ミスがある場合には、スタッフからチャットで確認した後にスタッフ側で修正します。

- ④学術集会に参加 → 登録完了画面にある参加 URL をクリック（→ Zoom が起動）
 - ⑤評議会 / 総会に参加 → 学術集会に参加したままで参加できます。
- 学会のホームページに、第 26 回学術集会への参加方法等の詳細を掲載していますので参考にしてください。
 - 発表者や座長となる場合は、必ず PC (Windows) / Mac で参加してください。PC (Windows) / Mac のカメラ、イヤホン*¹、マイクが使用可能であることを確認してください。発表にはこれらのデバイスが必須です。*1：外部スピーカーの使用はハウリング等の音声障害を避けるため不可です。
 - 参加者は原則として視聴のみですが、座長の許可を得て質疑をする際は発言できます。その際はイヤホン、マイクが必要です。なお、参加者の顔は他の参加者には映りません（参加者の許可なくビデオを有効にすることはできません）。
 - 同じ室内からの同時アクセスは禁止です（ハウリング等を避けるため）。
 - 録画や発表資料の保存（画面キャプチャを含む）、録音、再配付は禁止です。Zoom の使用法やインターネット環境等に関する問い合わせには回答できません。

一般講演プログラム

1日目 11月6日(土) 9:30～11:51, 14:00～15:30

座長 鈴木卓弥(広大院)

演題番号	時刻	演題および演者
1-1	9:30	野菜・果物混合物および配合素材の腸内環境改善効果 ○吉田美香子 ¹ , 小林恵津子 ¹ , 西本悠一郎 ² , 富樫友花 ² , Tenagy ² , 福田真嗣 ² , 岡村寿美恵 ¹ (¹ サンスター(株) 研究開発統括部, ² (株)メタジェン 研究部)
1-2	9:48	脂肪の添加レベルがフルクトオリゴ糖摂取ラットの大腸 ALP 活性をはじめとする腸内環境に及ぼす影響 ○岡崎由佳子, 能瀬菜々, 篠原結月 (藤女子大・人間生活)
1-3	10:06	紫じゃがいもおよびそのポリフェノールがラットの腸内発酵特性に与える影響 Aldrine Kilua ¹ , ○永田龍次 ¹ , 福岡直希 ^{1,2} , 島田謙一郎 ¹ , 谷 昌幸 ^{1,2} , 野田高弘 ³ , 韓 圭鎬 ^{1,2} , 福島道広 ¹ (¹ 帯畜大・生命・食料, ² 帯畜大・GAMRC, ³ 北海道農業研究センター)
1-4	10:24	Laminariales 由来難消化性糖質は大腸粘膜固有層リンパ球を活性化させ大腸内 IgA 量を増加させる ○田邊宏基, 安間浩輝, 岡本珠衣, 田中優真, 豊島颯紀 (名寄市大・保健福祉)

(休憩 15分)

座長 田邊宏基(名寄市大)

演題番号	時刻	演題および演者
1-5	10:57	グアガムの飼料添加によるブタ腸内細菌叢変化の経時的解析 ○大貫 耀 ^{1,2} , 平田真樹 ^{1,3} , 松岡美樹 ^{1,2} , 吉田知加 ^{1,2} , 小浦孝修 ³ , 橋本託真 ³ , 峯村采花 ² , 三浦大輝 ² , 江口修平 ² , 岡健太郎 ² , 高橋志達 ² , 森松文毅 ^{1,3} (¹ 徳島大・バイオイノベーション研, ² ミヤリサン製薬(株)・研究開発本部, ³ 徳島大・生物資源産業)
1-6	11:15	ヒト新鮮便を用いた食物繊維, デンプンおよびムチンの嫌気培養によって誘導される細菌種と発酵代謝産物の解析 ○内藤祐里菜 ¹ , 日野真吾 ² , 福島道広 ³ , 西村直道 ² , 森田達也 ² (¹ 静大院・総合科学技術, ² 静大・大学院, ³ 帯畜大・生命・食料)
1-7	11:33	大豆皮加工品が高脂肪食誘導性肥満マウスの腸内細菌叢に及ぼす影響 ○尾方みのり ¹ , 駒谷初音 ¹ , 高尾都歩 ¹ , 浅岡卓也 ² , 三木祐香 ² , 平井 静 ¹ , 江頭祐嘉合 ¹ (¹ 千葉大院・園芸・応用生命, ² 昭和産業(株))

12:45～ 評議員会・総会

13:45～ 学会賞・奨励賞 授与式

座長 藤谷美菜 (愛媛大)

演題番号	時刻	演題および演者
1-8	14:00	線虫 (<i>C. elegans</i>) におけるビタミン B ₁₂ 投与がプロピオン酸代謝能に及ぼす影響 ○三浦紀称嗣, 宮田富弘 (川崎医療福祉大院・医療技術・健康科学)
1-9	14:18	マウス回腸終末部における短鎖脂肪酸が惹起する非コリン作動性経上皮起電性イオン輸送 ○塚本滉太, 唐木晋一郎 (静岡県大院・食品栄養)
1-10	14:36	腸管上皮ヒートショックプロテイン 70 (HSP70) 発現への短鎖脂肪酸による影響 アデシナ・プレシヤス・アデダヨ, 山本祥也, ○鈴木卓弥 (広大院・統合生命)

座長 東泉裕子 (国立健康・栄養研)

演題番号	時刻	演題および演者
1-11	14:54	1-ケストースの接触過敏症抑制効果と循環血中エクソソームの関与 ○唐津勇吾 ¹ , 門田吉弘 ² , 栃尾 巧 ² , 逢坂文那 ¹ , 園山 慶 ¹ (¹ 北大院・農, ² 物産フードサイエンス(株))
1-12	15:12	難消化性オリゴ糖含有飼料の継続摂取がマウスの葉酸欠乏の遅延に及ぼす影響 ○田辺賢一 ¹ , 奥田明日香 ² , 近藤貴子 ³ , 金高有里 ⁴ , 中村禎子 ² , 奥 恒行 ⁵ (¹ 中村学園大・栄養, ² 十文字学園女子大院・人間生活, ³ 名古屋女子大院・生活, ⁴ 札幌保健医療大・保健医療, ⁵ 十文字学園女子大・国際栄養食文化健康研)

2日目 11月7日(日) 9:30～11:33

座長：田辺賢一（中村学園大）

演題番号	時刻	演題および演者
2-1	9:30	ラットにおける希少糖D-アロースによるGLP-1分泌促進機構の解析 松村祐季 ¹ , 岸本由香 ² , 飯田哲郎 ² , 比良 徹 ¹ (¹ 北大院・農, ² 松谷化学工業(株))
2-2	9:48	ビートファイバー摂取はラットのGLP-1分泌および視床下部プロオピオメラノコルチン・副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン遺伝子発現を増加させることで, 摂取エネルギーを減少させる ○長森公寛 ¹ , 岡本直大 ¹ , 小原健太郎 ² , 前野元希 ¹ , 藤谷美菜 ¹ , 名倉泰三 ³ , 岸田太郎 ¹ (¹ 愛媛大院・農・生命機能, ² 愛媛大・農・生命機能, ³ 日本甜菜製糖(株)・総研)
2-3	10:06	大麦粉はマウスにおいて, 腸内発酵の増加によるGPR43の活性化を介して食後血糖値の上昇を抑制する. ○三尾建斗 ¹ , 山中千恵美 ² , 木村郁夫 ^{3,4} , 青江誠一郎 ^{1,2} (¹ 大妻女子大院・人間文化, ² 大妻女子大・人間生活文化研, ³ 京大院・生命, ⁴ 東京農工大院・農)

(休憩 15分)

座長 比良 徹（北大院）

演題番号	時刻	演題および演者
2-4	10:39	難消化低発酵性食物繊維の小腸からの脂肪吸収に対する抑制効果 ○後田ちひろ ^{1,2} , 大森瑞紀 ³ , 倉若美咲樹 ^{1,2} , 奥田明日香 ³ , 金高有里 ^{2,4} , 田辺賢一 ^{2,5} , 山崎優子 ² , 奥 恒行 ² , 中村禎子 ^{1,2,3} (¹ 十文字学園大・人間生活・食品開発, ² 十文字学園大・国際栄養食文化健康研, ³ 十文字学園大院・人間生活, ⁴ 札幌保健医療大・栄養, ⁵ 中村学園大・栄養)
2-5	10:57	レジスタントスターチを配合した焼き菓子の摂取が血糖値上昇へ及ぼす影響 ○横塚昌子, 牛澤万樹, 佐久間叶子, 中川星来, 福澤可奈 (昭和女子大・食健康・管理栄養)
2-6	11:15	小腸上皮様細胞を用いたペクチンによる栄養素吸収への影響の検討 後藤咲季 ¹ , 北口公司 ^{1,2} , ○矢部富雄 ^{1,2,3} (¹ 岐阜大院・連合農学, ² 岐阜大・応用生物, ³ G-CHAIN)

12:00～ 発表賞 表彰式

講演者へのお願い

[事前接続テスト]

- ・ Zoom の接続テストを、2021 年 10 月 29 日（金）14：00 ～に実施する予定です。必ず接続テストに参加してください。
- ・ 接続テストの参加 URL へのアクセス方法は、事前にメールでお知らせします。

[講演]

- ・ セッション開始 15 分前には接続して、参加できていることを確認してください。
 - ・ 事前に、スタッフからパネリスト権限を与えます。
 - ・ 最初のスライドには、演題タイトル、氏名、所属を入れてください。
 - ・ 発表時間は、発表 12 分、質疑応答 5 分、交代時間 1 分の合計 18 分です。
 - ・ 時間経過を画面にタイマー表示でお知らせします。発表時間の厳守をお願いします。
 - ・ 質疑応答については、座長の指示に従って下さい。
-

座長へのお願い

- ・ 運営の都合上、担当時間 30 分前までに会場（ウェビナー）にアクセスしてください。
 - ・ 座長の方には、事前に共同ホストの権限を付与します。
 - ・ 進行は、通常の学術集会どおり（発表演題名、演者の氏名と所属の紹介、質疑応答）をお願いします。
 - ・ 発表賞候補者の演題の場合、その旨を伝えてください。
-

参加者へのお願い

- ・ 参加者は、視聴はできますが、原則としてマイクやビデオの操作はできません。
- ・ 参加者の名前は他の参加者には表示されませんが、座長や講演者には表示されます。

[質疑応答]

- ・ 質疑応答では、Zoom の [手を挙げる] ボタンによって質問の意思を表明できます。
- ・ 座長から許可を得た場合のみ、マイク操作が可能になり質問することができます。
- ・ マイクをご自身で ON（ミュート解除）にしてから質問してください。
- ・ 座長の指示に従い、所属と氏名を述べてから、ご発言ください。

※質疑応答には、イヤホンとマイクが必要です。

編集委員会より

ニュースレター No.52 をお届けいたします。ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染者数は、7~9月の東京オリンピック・パラリンピック開催時より徐々に減少してきてはいますが、終息まではまだまだ時間がかかりそうです。大学の授業はオンデマンド、オンラインでの双方向、対面との組み合わせなどで行っている状況です。さて、第26回の学術集会は、大妻女子大学の青江誠一郎先生が集会長、静岡大学の西村直道先生が実行委員長となられオンラインライブ（Web開催・双方向性）で行われます。質疑応答の時間も十分ございますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

(江頭祐嘉合)

📍 令和3年度会費納入の願い

当学会は、学術集会、公開講演会、学会誌、ニュースレターの発行などの運営を会費に依存しております。令和3年度の会費納入がまだの方は、「令和3年度年会費」と会員番号をご記入頂き、郵便振替にてお振り込み下さいますようお願いいたします。振り込みの詳細については、学会ホームページ「年会費」に記載されております。なお、会員番号は学会誌送付時の封筒の宛名ラベル右下に印字してあります。

令和3年度年会費

正会員 8,000円 学生会員 2,000円 団体会員 10,000円 賛助会員 70,000円（一口）
卒業・就職などで学生会員でなくなられた方は同封の会員名簿変更届けにてお知らせください。

会員状況：2021年度10月1日現在

●会員数 219名 (学生会員 52名)
●賛助会員 43社 ●団体会員 8団体 ●名誉会員 3名

【賛助会員】

株式会社A D E K A
伊那食品工業株式会社
イングレディオン・ジャパン株式会社
塩水港精糖株式会社
王子コーンスターチ株式会社
大塚食品株式会社
大塚製菓株式会社
株式会社荻野商店
株式会社カーギルジャパン
カルビー株式会社
株式会社サナス
サンエイ糖化株式会社
三和澱粉工業株式会社
株式会社J-オイルミルズ
清水化学株式会社

昭和産業株式会社
信越化学工業株式会社
全国精麦工業協同組合連合会
太陽化学株式会社
ダニスコジャパン株式会社
帝人株式会社
DSP五協フード&ケミカル株式会社
株式会社東洋新薬
永倉精麦株式会社
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社日清製粉グループ本社
日清ファルマ株式会社
日本甜菜製糖株式会社
日本ケロッグ合同会社
日本食品化工株式会社

日本バイオコン株式会社
ネキシラ株式会社
株式会社はくばく
株式会社林原
株式会社ファンケル
フジ日本精糖株式会社
富士フィルム和光純薬株式会社
松谷化学工業株式会社
株式会社マルヤナギ小倉屋
山崎製パン株式会社
雪印メグミルク株式会社
レッテンマイヤー・ジャパン株式会社
ロケットジャパン株式会社
(五十音順)



日本食物繊維学会

Newsletter No.52

発行日：2021年10月10日
発行人：(一社)日本食物繊維学会理事長 青江誠一郎
編集人：早川享志、江頭祐嘉合
印刷所：江戸クリエート株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16
コア本郷ビル

(一社)日本食物繊維学会事務局
江戸クリエート株式会社 内
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16
コア本郷ビル
E-mail: jdf.office@luminacoids.jp
TEL: 03-3814-1225 FAX: 03-3814-3215
URL: <http://jdf.umin.ne.jp>